

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 みんなでいきる

1. 法人の現況

1-1 平成 30 年度総括

平成 30 年度は経常損益がマイナスという結果となりました。主な要因としては、4 月 1 日にオープンをした「生活介護事業所とも」が当初見込んでいた利用者の利用が無くなり、「生活介護事業所きら」の利用者を一部振り返ることに伴い、2 事業所の生活介護利用者が相対的に薄まってしまい、予算未達が大きく発生した、サンクス米山に入院患者が多数発生したことに対する対策不足、サンクスレルヒの森においては夏場に 5 名の死亡退所があり、空き室の解消に時間がかかった事があげられます。上期は以上の要因も重なり営業損益が 30.8 百万円となりましたが、下期は対策を実施することにより、15.8 百万円となりましたが上期の損失をカバーするまでには至りませんでした。

新たな事業として設置いたしました「みんなでいきる相談センター」は当初は手さぐり状況で進めてまいりましたが徐々に認知されることにより 1 ヶ月 400 件程度の相談実績があがっており、地域に認知されてきております。また、当初の計画通り、高齢者・障害者の相談を一カ所ですべて受ける体制は、上越市役所よりも評価を頂ける結果となり今後の上越地域のモデルとすべく注目されております。

障害者芸術文化事業は、過年度においては展示会を中心とした活動をしてまいりましたが、新たな取組として上越アートプロジェクトとして通年をとおして関わられる事業をおこない、より障害者芸術に理解を得られたのではないかと思います。また、広域ブロック事業においては各県の支援センター開設を支援し、新潟、富山、岐阜、愛知、静岡、の 5 県で支援センターが開設いたしました。2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおいて開催される日本アール・ブリュット展の準備を次年度も引き続き進めてまいります。

一方、課題は担い手不足です。例年であれば退職者数と同数の入職者数がいたのですが、本年度は製造業の好況等の要因もあり福祉業界を希望する人が大幅に減少し欠員を補充できず、現場職員の疲弊感を増大させ更なる退職者を生じさせました。夜勤手当の増額や採用者のリクルートを強化することにより再度採用環境を整え人員確保に努めてまいります。また、比較的に入職年数の浅い職員を対象に計画的・段階的な研修を実施し、不満や疲弊感の解消を行い雇用の継続をはかります。

もう一点、サンクス米山のエネルギーについて灯油ボイラーを活用していますが、灯油代の高止まり、ボイラーの耐用年数の超過に伴う故障リスクの増大もあり令和元年度は大規模改修をおこない安心した利用環境を整えていく計画です。

2019 年度、令和最初の年度は利用者、職員が“みんなでいきる”に入れて良かったと思ってもらえるような法人運営をおこなってまいります。

2. 平成 30 年度事業方針の取組について

2-1 「部門別予算」の達成

(単位：千円)

拠点名	事業収入		達成率	事業損益		達成率
	当初予算	決算額		当初予算	決算額	
サンクス米山	552,625	531,155	96.1%	27,038	2,671	-
サンクス柿崎	198,282	185,699	93.6%	1,027	10,576	-
サンクスレルヒの森	499,962	488,605	97.7%	72,670	61,325	84.3%
りとるらいふ	264,985	224,565	84.7%	30,738	16,320	-
若竹寮	182,902	198,597	108.5%	12,428	26,310	211.6%
相談センター	56,224	61,826	109.9%	311	1,103	354.6%

2-2 みんなでいきる相談センターの運営開始

平成 30 年 4 月 1 日に「みんなでいきる相談センター」とし、高齢者・障害者の地域における困りごとを総合的に解決すべく 11 名体制にて開設をした。

今後は、子ども相談や貧困相談機能を充実させることにより、地域や家庭における問題をワンストップで受けれる「みんなでいきる版地域包括ケア機関」として整備を進める。

【みんなでいきる相談センター】

みんなでいきる地域包括支援センター（高齢）

みんなでいきる居宅介護支援事業所（高齢）

みんなでいきる相談支援事業所（障害）

包括支援センター相談実績(延件数)		
訪 問	2,452 件	58.6%
電 話	1,493 件	35.7%
来 所	227 件	5.4%
文 書	14 件	0.3%
計	4,186 件	100.0%

2-3 障害者芸術活動の推進

(1) 「上越アートプロジェクト」の開催

全体趣旨	より多様な方への理解を深める為に「わからないの居場所」をコンセプトにし、展示会だけではなく福祉とアートに関わる様々な文化事業として通年にて展開し、より多様な関係性とコミュニティの発展を目指した。
開催概要	アール・ブリュット展 in 上越 4 もちより作品展示マイプレイステーション～私の遊び場～ 音楽LIVE 障害とアートに関する講演会 ワークショップ「おせっかい道場」 創作の場 みんなでわいわいあーとなじかん
開催期間	～ 平成 30 年 10 月 6 日～平成 30 年 10 月 12 日 ～
開催場所	浄興寺・リブレリアホール
作家数	浄興寺会場 県内作家 2 名 県外作家 18 名 リブレリアホール会場 個人、施設合わせて 20 組
来場者数	2,004 名

(2) 厚生労働省「障害者芸術活動活動普及支援事業」の受託及び運営

東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センターの立ち上げ
愛知、静岡、三重、岐阜、富山、石川、福井、新潟県の東海・北陸ブロック
内における普及支援事業

主な活動内容

○相談支援事業（延相談件数 720 件）

○県域センター開設支援事業

開設県 富山・岐阜・静岡・愛知・新潟

人材育成研修事業

権利関係研修事業

発掘発信事業

上越アートプロジェクト

ボーダレスアートセッション inTOYAMA

公開オーディションの開催

「パフォーマー公開オーディション あしたの星 2」(H30.7.14)

2-4 高齢福祉事業と障害・児童福祉事業の更なる融合

事業部間職員異動実績

平成 28 年度異動者 4 人

平成 29 年度異動者 19 人

平成 30 年度異動者 13 人

異 動 前	異 動 後	人数	摘 要
若竹寮	サンクスレルヒの森	3 人	
若竹寮	りとるらいふ	5 人	定期人事異動
若竹寮	サンクスレルヒの森	1 人	"
りとるらいふ	若竹寮	2 人	"
サンクスレルヒの森	りとるらいふ	1 人	"
サンクスレルヒの森	りとるらいふ	1 人	

2-5 「働きがいのある職場への実現」への取り組みを実施

ベビーサンクスすくすく寺町保育料補助

育児により（特に未満児）働くことが困難なケースを解消し、働くことによる従業員の給与収入を保証すること及び法人としての労働力確保を目的。

< 補助額 > 0～2 歳児 全額補助
3 歳～ 15,000 円

夜勤宿直手当の改定

		改定前	改定後	アップ額
宿 直 手 当		4,000 円	5,000 円	+1,000 円
夜 勤 手 当				
介護職員	1～4 回	5,000 円	7,000 円	+2,000 円
	5 回以降	7,000 円	11,000 円	+4,000 円
看護職員	1～4 回	6,000 円	7,000 円	+1,000 円
	5 回以降	8,000 円	11,000 円	+3,000 円

2-6 優秀な人材確保及び離職防止に向けた採用研修への取り組み。

平成 31 年度入職新卒職員採用者数

最終学歴	採用数	配属部署	
大学卒	5人	高齢福祉事業部	3人
短大専門卒	2人	障害福祉事業部	2人
高卒	1人	児童福祉事業部	2人
		リハビリ	1人
計	8人	8人	

上記採用者数の内訳(重複あり)

県外大・短大卒数(3人) 上越市外出身者数(6人)
 福祉系大卒(4人) 福祉系短大専門卒(2人)

新卒入職職員へのフォローアップ研修の実施

目的：1年目の目標の明確化及びフォロー実施することによる離職防止

日程：4回開催(5,7,10,3月)

中堅職員研修の実施

目的：3年までの職員離職を防ぐこと及び、リーダー候補を計画的に養成する。

2年目職員フォローアップ研修(6,12月)

2・3年目対象モチベーションアップ研修(10,11月)

4・5年目対象主任見習い研修(1,2月)

係長等対象管理職研修(1,2月)

3. 法人の概要

3-1 事業所の概要

事業部	事業所名	サービス名	定員	管理者	開設年月
高齢福祉 事業部 「サンクス」	介護老人保健施設 サンクス米山	介護老人保健施設 通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション	100名 30名	原田 雷太郎	H15.9
	サンクス柿崎	短期入所生活介護 通所介護	40名 20名	小山 智彦	H25.4
	特別養護老人ホーム サンクスレルヒの森	指介護老人福祉施設	100名	塚田 光知子	H27.6
障害福祉 事業部 「りとるらいふ」	りとるの家	生活介護「きら」	20名	片桐 友紀	H22.4
	りとるの家はなれ	放課後等デイサービス「ららん」	10名	片桐 友紀	H24.5
		短期入所「ぷあん」	8名	松田 清司	
	とも	生活介護「とも」	20名	片桐 友紀	H30.4
	にこ	放課後等デイサービス「にこ」	10名	片桐 友紀	H27.6
しゃぼん玉クラブ	高田西小学校放課後児童クラブ	75名	片桐 友紀		
児童福祉 事業部	児童養護施設 若竹寮	児童養護施設	56名	太田 邦夫	H29.4
地域生活 支援部	みんなでいきる 相談センター	地域包括支援センター 居宅介護支援 特定計画相談支援 障害児相談支援 上越市安心生活支援事業 (コールセンター)		江部 健幸	H30.4

3-2 施設職員数の推移 正 正職員 他 契約職員・パート・アルバイト

拠点名	年度	平成 28 年度末	平成 29 年度末	平成 30 年度末	増 減
サンクス米山	正	65 人	78 人	75 人	3 人
	他	34 人	24 人	20 人	4 人
	計	99 人	102 人	95 人	7 人
サンクス柿崎	正	29 人	32 人	29 人	3 人
	他	17 人	12 人	13 人	1 人
	計	46 人	44 人	42 人	2 人
サンクスレルヒの森	正	53 人	57 人	59 人	2 人
	他	24 人	14 人	20 人	6 人
	計	77 人	71 人	79 人	8 人
りとるらいふ	正	25 人	37 人	34 人	3 人
	他	36 人	23 人	22 人	1 人
	計	61 人	60 人	56 人	4 人
若竹寮	正	12 人	26 人	29 人	3 人
	他		10 人	9 人	1 人
	計	12 人	36 人	38 人	2 人
相談センター	正			11 人	11 人
	他			0 人	0 人
	計			11 人	11 人
法人本部	正	9 人	9 人	9 人	0 人
総 計		304 人	322 人	330 人	8 人

3-3 財産債務及び損益の状況の推移

(1) 財産債務の推移

(単位：千円)

事業年度 項目	平成 28 年度 H29.3.31 現在	平成 29 年度 H30.3.31 現在	平成 30 年度 H31.3.31 現在	増 減
流動資産	642,587	731,557	1,169,166	437,609
固定資産				
基本財産	2,378,641	2,430,194	2,341,521	-88,673
その他の固定資産	219,013	1,374,055	1,644,643	270,588
資産の部 計	3,240,242	4,535,810	5,155,331	619,521

流動負債	443,946	506,065	1,164,680	658,615
固定負債	1,986,892	3,116,073	2,969,256	-146,817
負債の部 計	2,430,839	3,622,139	4,133,937	511,798
純資産の部 計	809,402	913,671	1,021,394	107,723

(2) 損益の推移

事業年度 項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	増 減
サービス活動収益	1,452,648	1,652,484	1,704,230	51,746
人 件 費	879,473	1,020,185	1,098,861	78,676
事 業 費	162,510	218,433	230,949	12,516
事 務 費	237,777	251,807	265,636	13,829
減 価 償 却 費	97,357	97,828	103,157	5,329
そ の 他	9,419	7,804	9,573	1,769
サービス活動費用	1,386,537	1,596,057	1,708,178	112,121
サービス活動増減差額	66,110	56,426	-3,947	-60,373
サービス活動外収益	4,494	5,462	5,717	255
サービス活動外費用	18,353	17,608	16,851	-757
経常活動増減差額	52,251	44,280	-15,081	-59,361

3-4 会議の開催状況

(1) 理事会（定数 7 人）

回 数	開 催 年 月 日	出 席 理事数
第 1 回	平成 30 年 5 月 28 日	7 名
第 2 回	平成 30 年 6 月 18 日	7 名
第 3 回	平成 30 年 8 月 2 日	6 名
第 4 回	平成 30 年 11 月 26 日	7 名
第 5 回	平成 31 年 3 月 28 日	6 名

(2) 評議員会（定数 8 人）

回 数	開 催 年 月 日	出 席 評議員数
第 1 回	平成 30 年 6 月 11 日	6 名

3-5 監査の状況

(1) 法人監事による監査

実施日時：平成 30 年 5 月 18 日

場 所：法人本部

監査項目：会議開催状況、決算、資産・負債残高照合

監査所見：特になし